

通勤する時、バスから見える一本の木を見続けてきた。美容室の入り口の脇に立つその木は、かなりの大木だった。広げた葉がサワサワと風に吹かれ、涼しそうな木陰をつくっている。毎朝、その光景を見るのが楽しみだった。

ところが今年に入り、その大木は1㍍ぐらいの高さにまで切れてしまった。

切り口の白い木肌が痛々しく、見ている私も落ち込んでしまった。

春になったある日、その木の脇から葉が出ていて、に気付いた。あれよあれよという間に葉が生い茂り、木肌を覆い隠すほど)の緑となつて、風にそよいでふる。なんてたくましく力強いのだろう。

私は、9月末で退職することになった。希望したこ

とではなく、もう少し、バ
スからこの光景を見ていた
い気持ちもあつた。だが、
この木に何かを教えてもら
ったような気がする。
もう69歳、いやいやまだ
69歳だ。前を向いて次のス
テップへジャンプしよう。
心の中で、あのサワサワと
した葉の音が優しく響いて
いる。

■ぷらざ投稿募集
原稿は400字程度。氏名、住所、年齢、職業、電話番号を必ず明記して、〒100・805読売新聞東京本社生活部「ぷらざ」係へ。電子メール（plaza@yomiuri.com）も可△採用分には記念品を贈呈します。掲載原稿は電子メディアや出版物などで公開することがあります。二重投稿はお断りします。原稿は返却しません。

2

卷之三

くらし
家庭

健康工科 活用進める政府

政府は、健康増進や環境負荷の低減、観光振興などのために自転車の積極的な活用を進めている。2011年7月に自転車活用推進法が施行され、たほか、今年6月には自転車活用推進計画を閣議決定した。

国土交通省自転車活用推進本部事務局によると、歩行者と自転車が分離された道路は全国で約1300kmにとどまる。担当者は「今すぐに自転車専用道を整備するのは難しい。歩行者との譲り合いが重要」と話す。

猛スピード 歩行者とトラブル

高速で走ることなかれ」という者とのトラブルが各地で目立つていて、自転車が徐行せずに歩行者の近くを走り抜けたり、歩行者に暴言を吐いたりする一方、自転車への嫌がらせで道路にくぎがまかれる事態も起きた。自転車愛好家が歩行者と共に存するためのマナー向上に乗り出している。

クト」は、猛スピードで走る自転車に対する歩行者の不満が背景にあるとみている。荒川で自転車に乗っていた大学1年の男性(18)は「ハンドルに取り付けたスピードメーターに気を取られ、周囲を確認せず走っている人を見かける」と話す。

大阪府の淀川河川敷でもトラブルが発生している。国土交通省淀川河川事務所によると、今年6月にスポーツ自転車の集団が歩行者に対し「邪魔だ」と暴言を吐き、同事務所に苦情が寄せられた。また5月には一般の自転車にスポーツ自転車が追突する事故も起きたという。

シンポやルール提唱

国交省荒川下流域事務所などによると、荒川や淀川を管理するための河川敷道路は通常時、自転車や歩行者の通行が認められている。ただ平らな道を自転車が高速走行する姿が年々目立つており、荒川の事務所では「自転車は徐行して、歩行者を優先させる」ことを呼びかけているほか、淀川の事務所もスピードを抑えることを求める看板を設置している。

「自転車側が減速したと思っていても歩行者とはスピードの感じ方が違う」といった意見が出て、自転車マナーの必要性を話し合う場になった。

「グッド・チャリズム宣言プロジェクト」も自転車に乗る際の6項目のルールを提唱し、チラシを配布するなどの

啓発活動を行つてゐる。自転車が道路から排除されることがないよう歩行者への配慮を求める内容が強調されており、代表理事の韓祐志さんは「サイクリストがどのように振る舞うかに自転車の今後がかかっている」とし、愛好家の自身のマナー向上が鍵を握ると訴えている。

人生案内

鰲田清一

他の被災地と比べてしまう

とは思えないのです。
そんな自分がとても嫌
な人間に思えます。ど
のように心持ちで災害
を考えればいいのでし
ょうか。